着任のあいさつ（法人本部　管理局長）

平成３０年7月1日付けで南東北グループの中核法人の「一般財団法人　脳神経疾患研究所」から当法人「社会福祉法人　南東北福祉事業団」管理局長に異動して、早いもので２か月が経過します。多少戸惑いながらも徐々に事業所の雰囲気、仕事のやり方等にも慣れてきました。私は福島県職員として長らく勤務しておりましたので、その中で福祉の仕事にも行政の面から携わった経験がありましたが、当時は、所謂措置権による入所・通所であり、現在のような利用契約によるサービスの提供とは大きく異なります。平成１２年（2000年）の介護保険法の施行に伴い、福祉・介護の考え方等が大きく変化しました。ただ、利用者さんの処遇を一番に考えて（最優先して）事にあたる、所謂「福祉の心」は昔も今も変わりはないと思いますので、「温故知新」しながら日々の仕事に精進しています。

当法人は「すべては利用者さんのために」の理念の下に、虐待ゼロ、褥瘡ゼロなど「15ゼロ（介護・福祉系事業所、病院系は16ゼロ）作戦」をグループ全体として設定し積極的に展開しておりますが、その一つにコンプライアンス（法令遵守）違反ゼロがあります。直接処遇（サービスの提供）に最善を尽くすことは言うに及ばずですが、管理・運営面においても定められている内容をしっかり守ることが重要であると考えています。そのことにより、利用者さん、ご家族の方々、地域の皆様のより大きな信頼を得られると確信しています。

職員一人一人の力は微力ではありますが、有機的に結ぶことでその力を大きくすることができますので、チームワークに更に磨きをかけてより良い施設づくり、職場・法人づくりに努めてまいります。関係の皆様のご支援、ご協力をお願いしまして、（遅れましたが）着任のご挨拶とします。よろしくお願いします。　　　　　　　　　管理局長・玉井　章